

611	<p>トヨタ 長谷川龍雄 主査10カ条</p> <p>第一条 主査は、常に広い知識、見識を学べ。 第二条 自分自身の方策を持て。 第三条 大きく、かつ良い調査の網を張れ。 第四条 良い結果を得るためには全知全能を傾注せよ。 第五条 物事を繰り返すことを面倒がってはならぬ。 第六条 自分に対して自信(信念)を持つべし。 第七条 物事の責任を他人のせいにしてはならぬ。 第八条 主査と主査付き(補佐役)は、同一人格であらねばならぬ。 第九条 要領よく立ちまわってはならない。 第十条 必要な資質——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.知識(点在している)、技術力(それを組み立て進展さす力)、経験(上限、下限の経験に より適正なレベルを設定する能力) 2.判断力、決断力 3.度量、スケールが大きいこと——経験、実績(成功と失敗共に)、自信より生まれる 4.感情的でないこと、冷静であること 5.活力、ねばり(トータル・エネルギー) 6.集中力(パワー) 7.統率力——相手を自分の方向になびかせ、同じ気持ちで仕事をさせること 8.表現力、説得力——特に部外者、上司に対して 9.柔軟性 最悪の場合にはメンツにこだわらず転身が必要な事もある。そのタイミングが問題 10.無欲という欲。 <p>要するに総合能力が必要、それは「人格」。</p> <p>・空洞化がいわれる日本のモノづくりに対し、こう直言するのだ。 「技術開発とサービス、販売を問わず、何事もごまかしではダメです。 見てくれでやってもいい商品はできません。本当にお客さんが喜び、お客さんのためになる 商品であるという芯がしっかりしていなければ、モノづくりは成功しないし、売れませんね。 環境問題、安全問題など、まだまだ大問題がいっぱいあります。アメリカが今繁栄していますが、 あれは金融だけで繁栄しているだけです。金融での繁栄は長続きするわけがない。 モノづくりでなきゃ、ほんとの繁栄じゃない。これも芯ですね」(長谷川龍雄さん)</p> <p>—これは、初代カローラの時代(1966年)から今日まで連続として受け継がれている、 チーフエンジニア制度の“憲法”のような「主査に関する十カ条」(当時、長谷川氏が発表)。</p>	長谷川龍雄
612	<p>電通鬼十則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.仕事は自ら創るべきで、与えられるべきではない。 2.仕事とは先手先手と働き掛けていくことで、受け身でやるものではない。 3.大きな仕事と取組め！ 小さな仕事は己を小さくする。 4.難しい仕事を狙え！ そして成し遂げるところに進歩がある。 5.取組んだら放すな！ 殺されても放すな！ 目的を完遂するまでは... 6.周囲を引きずり回せ！ 引きずるのと引きずられるのとでは、永い間に天地の開きができる。 7.計画を持て！ 長期の計画を持っていれば、忍耐と工夫と、そして正しい努力と希望が生まれる。 8.自信を持て！ 自信が無いから君の仕事には、迫力も粘りも、そして厚みすらがない。 9.頭は常に全回転、八方に気を配って、一部の隙もあってはならぬ！！ サービスとはそのようなものだ。 10.摩擦を怖れるな！ 摩擦は進歩の母、積極の肥料だ。でないと君は卑屈未練になる <p>事業の邪魔になる人</p>	吉田 秀雄
613	<ol style="list-style-type: none"> 1.自己の職務に精進することが忠義である事を知らぬ人。 2.共同一致の融和心なき人。 3.長上(目上)の教えや他人の忠告を耳にとめぬ人。 4.恩を受けても感謝する心のない人。 5.自分のためのみ思い、他人の事を考えぬ人。 6.金銭でなければ動かぬ人。 7.艱難(かんなん)に堪えずして途中で屈伏する人。 8.自分の行いについて反省しない人。 9.注意を怠り知識を磨かぬ人。 10.熱心足らず実力なきに威張り外見を飾る人。 11.夫婦睦まじく和合せぬ人。 12.物事の軽重緩急の区別の出来ぬ人。 13.何事を行うにも工夫をせぬ人。 14.国家社会の犠牲となる心掛のない人。 15.仕事を明日に延ばす人。 	島津 源蔵
614	<p>プロ12訓 (元大洋ホエールズ須藤監督が『プロ』と『アマチュア』の相違を示したもの)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロは明確な目標。アマは曖昧な目標。 	須藤監督

2. プロは自分でシナリオを書く。アマは他人のシナリオが気になる。
3. プロは思い、信じ込める。アマは不信感が先に出る。
4. プロは使命感で最後までやり遂げる。アマは途中で投げ出す。
5. プロは自己投資に金を使う。アマは遊びに金を使う。
6. プロは自信と誇り。アマは愚痴。
7. プロは成長を求め続ける。アマは現状に甘える。
8. プロは時間を有効利用。アマは時間の観念なし。
9. プロは成功するまで努力。アマは失敗を恐れる。
10. プロは可能性に挑戦。アマは経験に生きる。
11. プロは常に自己訓練。アマは気まぐれ。
12. プロは役立つ喜び。アマは自己防衛。

615 ユダヤ人成功の十の法則

1. 笑いなさい
2. 他人とは違うものを発見しなさい
3. 権威を憎しみ、権威になってはいけません
4. 逆境こそ、チャンスと考えよう
5. お金より時間を大切にしなさい
6. まずは元手がかからないことから始めなさい
7. 相手の話は、自分自身の2倍聞きなさい
8. 生涯学び続けなさい
9. お金は奪われてしまうが、知識は奪われることはない
10. 知識より知恵を大事にしなさい

616 匠の技と伝承(三訓)

1. 技術を伝える「匠」になろう 研ぎ澄まされた斧(技)を直ぐ
2. 後輩を育てる「匠」になろう 取り出せるように蓋がない
3. 信頼と価値ある「匠」になろう

617 ウィナーズセンス・ルーザーズセンス…

勝者: 悪い結果に対して、自分が間違えたと考える。
 敗者: 悪い結果に対して、悪かったのは自分のせいではない、自分以外だと主張する。
 →勝者は原因を的確に把握しているので、同じ過ちは繰り返さないと考えられる。

勝者: 他人の秀でた点を見つけようとする。
 敗者: 他人のあら探しばかりする。
 →他人の良い点を見つけ出そうとする勝者の態度は、向上心の現れである。

勝者: 結果が出たのは運だけではなかったけれど、自分は幸運だった。
 敗者: 結果が悪かったのは不運だけではなかったけれど、自分は不運だった。
 →勝者は結果が良かったにも関わらず、自己満足をしていない。

勝者: 問題に直面したとき、何とか打開しようとする。
 敗者: 問題に直面すると、これは誰にも分らないことだ、だから打開策などないと考える。
 →勝者は決して諦めない。困難に挑戦しようとする態度である。

勝者: 自分が約束したことに責任を持つ。
 敗者: 約束したことに責任感が乏しい。
 →勝者には強い責任感があり、敗者にはそれが欠如している。

勝者: 会議において他人の意見に耳を傾け、積極的に議題に参加する。
 敗者: 会議において他人の意見を聞かず、指名されるまで発言もしない。
 →勝者には旺盛な知識欲がある。

勝者: 状況の変化を鋭敏に認識し、それに対応する。
 敗者: いつも変化に振り回される。
 →勝者は固定観念に捉われず、変化に対応しようとする。

勝者: 結果は良かったが、まだ充分ではない。
 敗者: 結果は悪かったが、他より悪くない。

618 MITのメディアラボに掲げられた標語から…

地図よりもコンパス(羅針盤)が重要。(Compasses over maps)
 →地図はすぐ古くなって使えなくなる。その時に自分でコンパスを持っているか、あるいは自分が何をやりたいのかの、希望や意志があることが重要になる。そして、進みたい方向に進めるだけの能力を持っているかが問われる。
 「強さ」よりも「復元力」が重要。(Resilience over strength)
 →何が起きてても絶対に潰れないという建物はないし、絶対に潰れない企業もない。

NYポストの
連載コラムから

強いものをつくることは大切だが、それでも必ず何らかの理由で壊れることがありうる。
その時に重要になるのが、復元力である。

「お勉強」よりも「学習」が重要。(Learning over education)

→他人から教えられた知識を詰め込む「お勉強」ではなく、自分で考えて学ぶことが重要になる。
知識はパソコンやスマホがあれば、インターネットでいくらでも手に入れることができる。
大切なのは、自らの手や頭を使って、実際に経験しながら学ぶことだ。

619 投げたらダメ DON'T QUIT 作者不詳 (アメリカで読みつがれた)

ものごとは、いつだって、そう、うまくはいかない。
とぼとぼ歩く道が、この先もずっと上り坂に見えたり、
手もとに資金はなく、借金だけがかさ高かったり、
笑いたいのにな、ため息しか出てこなかったり、
苦労があなたを少し落ち込ませる。
そんな時、休みが要るなら休みなさい、でも途中で投げたら、ダメ。

When things go wrong, as they sometimes will,
When the road you're trudging seems all uphill,
When the funds are low and the debts are high,
And you want to smile, but you have to sigh,
When care is pressing you down a bit,
Rest, if you must, but don't you quit.

だいたい人生はあっちにいたり、こっちにいたり、ねじくればかり。
でもだからこそ、失敗と見えたことが成功にくると転じたり、
終りまで粘り続けた人が、勝ったりする。
ものごとが進む速度が遅くても、途中であきらめないこと。
あきらめなければ、もうひと押しで、思いをとげられるかもしれない。

Life is queer with its twists and turns,
As everyone of us sometimes learns,
And many a failure turns about
When he might have won had he stuck it out;
Don't give up though the pace seems slow
You may succeed with another blow.

失敗と成功は表裏一体。
行き先をはばむ雲の中に、銀の輝きはひそむ。
けれど、人は、それがいかに近くにあるかわからない。
ものすごく遠くに見える輝きでも、もしかしたらすぐ近くにあるかもしれない。
だから、打たれ、へこまされている時ほど、闘い続けるべき。
ものごとが最悪に見える時こそ、絶対、途中で投げてはいけない

Success is failure turned inside out,
The silver tint of the clouds of doubt,
And you never can tell just how close you are,
It may be near when it seems so far;
So stick to the fight when you're hardest hit,
It's when things seem worse that you must not quit.